

関西スポーツランド

報知新聞社ナジック学生情報センター共催
ナジック杯第12回大学スポーツ新聞コンテスト
 報知新聞社ナジック学生情報センター、全国17大学が参加。最優秀賞(ナジック杯)共催ナジック杯第12回大学スポーツ新聞と企画賞に明大、原稿賞に関学大、写真賞に全大、レイアウト賞に中大が選ばれた。また、プロボクシング主要4団体の元世界ミニマム級王者で、2020年東京五輪出場を目指す高山勝成(35)の名古屋産大がサテライトとして出場し、学生と交流した。

ナジック杯

企画賞

明大

原稿賞

関学大

写真賞

レイアウト賞

ナジック杯第12回大学スポーツ新聞コンテストの授賞式の様子。最優秀賞(ナジック杯)は明大が獲得し、企画賞は明大、原稿賞は関学大、写真賞は全大、レイアウト賞は中大が選ばれた。

新聞社勤務OB支援
 昨12月2日に開催された関西大学ラグビー対抗戦の早大戦をめぐり、当日は、会場の秩父宮ラグビー場で約1万8000部を配布した。新聞社に勤務するOBが「監督」などを務め、プロの視点から紙面の企画や編集面のアドバイスを送る点が最大の強みだ。古賀章太郎編集長(3年)は「OBは正解を知っている方々。そこへ自分たちの考えをぶつけて修正して、を繰り返す。大人と我々がふつかり合って作った紙面と胸を張った。ナジック杯 明大 大評」

速報性を重視
 ヨット部女子が全日本インカレで4年ぶり総合優勝。その立役者となった本田・小泉ペアを中心とした一面だ。二階紙やスポーツ紙との違いは「同じ大学の学生同士で選手とちがく聞けないエピソードをいかに伝えるか」と松尾誠編集長(3年)はウェブ外の制作で部員のスキルが上がってきており、紙面も速報性を重視。「タイムリーな話題を伝えたい」と今後の抱負を語った。【原稿賞・関学大 大評】

一面は現地で見ていたからそのレース展開の臨場感、会場の雰囲気などがよくレポートできている。他の面もその場の雰囲気を伝える、エピソードも具体的な数値が入りキメ細かい。



同大写真賞

選手特徴捉える

が好評だったが、一面のメイン写真が特に高く評価された。野球に關しては毎試合付きっきりのカメラマンを置いており、「この号、個人成績など野球ならはうとうとうにカットポーズをやったデータにこだわった紙面構成」とか、各選手の特徴が分かってきた。

【写真賞・同大 大評】
 一面の高山選手が投手のカットポーズの写真を、ぶつ切りで力強さが感じられ、インパクトがいたのが大きかった」と森戸尚毅編集長(3年)。

「写真賞、同大 大評」
 一面の高山選手が投手のカットポーズの写真を、ぶつ切りで力強さが感じられ、インパクトがいたのが大きかった」と森戸尚毅編集長(3年)。

高山東京へ「まず代表切符」

まず代表切符

ゲスト参加した高山が、大学生相手をしたと、国内未承認の団体で戦った。高山は「ボクサー人生を語った。た当時の思い出も披露した。昨年10月、こちらも日本初となるプロアマ選手への転向が実現した。プロアマの違いを紹介するため、プロの8割クラブとアマの10割クラブを持参。ナックル部分の厚さが違うので、どうしてと大学生の手に取らせ、パンチを放つと驚きの声が上がった。質問コーナーでは、昨年大みそかに行われた元世界5階級王者メイウェザーと格闘家・那須川天心のエキシビションマッチについて聞かれ、体重が50kgと違うし、那須川選手はヘッドギアを着けた上で、メイウェザーは16割、那須川は14割のクラブを着けるべきと元王者らしい見解で学生を納得させた。プロアマではルールが異なる、東京五輪の出場権を取るのには容易ではない。メダル云々よりは、まずは日本代表の切符を取ること。アマのスタイルをしつつ、プロの技術も残して戦う」と決意表明し、拍手を浴びた。

関学大原稿賞

原稿賞

をいかに伝えるか」と松尾誠編集長(3年)はウェブ外の制作で部員のスキルが上がってきており、紙面も速報性を重視。「タイムリーな話題を伝えたい」と今後の抱負を語った。【原稿賞・関学大 大評】

一面は現地で見ていたからそのレース展開の臨場感、会場の雰囲気などがよくレポートできている。他の面もその場の雰囲気を伝える、エピソードも具体的な数値が入りキメ細かい。

中大レイアウト賞

レイアウト賞

が好評だったが、一面のメイン写真が特に高く評価された。野球に關しては毎試合付きっきりのカメラマンを置いており、「この号、個人成績など野球ならはうとうとうにカットポーズをやったデータにこだわった紙面構成」とか、各選手の特徴が分かってきた。

【写真賞、同大 大評】
 一面の高山選手が投手のカットポーズの写真を、ぶつ切りで力強さが感じられ、インパクトがいたのが大きかった」と森戸尚毅編集長(3年)。

「写真賞、同大 大評」
 一面の高山選手が投手のカットポーズの写真を、ぶつ切りで力強さが感じられ、インパクトがいたのが大きかった」と森戸尚毅編集長(3年)。



ますます、学生のために。これからの社会のために。

ナジック学生情報センターは、全国の大学スポーツ新聞の活動を応援しています。

『常に学生のために』 留学生も含めた学生の住まいから、アルバイト、就職支援まで、学生生活をトータルに支援しています

ナジック学生情報センター
 京都市本社：京都市下京区烏丸通七条下ル ニッセイ京都駅前ビル
 東京本社：東京都渋谷区神宮前5-52-2 青山オーバルビル10F

株式会社ナジック・アイ・サポート
 実績と信頼をベースに、あらゆる学生の可能性を広げるキャリアデザインコンテンツ創出企業
 東京オフィス：東京都渋谷区神宮前5-52-2 青山オーバルビル10F
 大阪オフィス：大阪市淀川区西中島5-4-20 中央ビル2F

http://749.jp